

※正副議長と議会運営委員長は、慣例で、
一般質問を行わないこととしています

質問者の発言の
題目はこちら↓



一 般 質 問 を 行 っ た 議 員 で す (発 言 順)

6月10日	小 林 秀 司	富 永 純 子	日 下 部 広 志	古 里 幸 太 郎	玉 正 彩 加	市 川 克 宏	6月11日	綿 林 夕 夏	立 川 寛 之	望 月 翔 平	石 井 宏 和	山 本 貴 士	金 子 亜 希 子	6月12日	長 谷 川 順 子	森 喜 彦	船 木 翔 平	及 川 賢 一	星 野 直 美	浜 野 正 太
-------	---------	---------	-----------	-----------	---------	---------	-------	---------	---------	---------	---------	---------	-----------	-------	-----------	-------	---------	---------	---------	---------

まちづくり

北部地域の活性化は

問 8年に開業予定と発表されている北部地域での大型商業施設（イオン）開業について、地域貢献の観点から期待される効果は。

答 生活の利便性向上による周辺地域の活性化のほか、雇用創出、市の魅力発信など、さまざまな効果が期待される。



問 高齢者サロンとしての活用など、施設の公共的な活用は検討しているのか。

答 どのような連携ができるか、事業者と協議を進めている。

問 イオン開業を契機とした北部地域のまちづくりへの市の考えを聞きたい。

答 イオン開業を一つの通過点と捉え、地域の交流に資する地域拠点と、流通を担う産業拠点の形成を進め、次世代に継承できるまちになるよう取り組んでいきたい。

緑を感じられる

南大沢駅前へと整備を

問 南大沢駅前には緑が少なく感じる。植栽による景観形成を行えないか。

答 駅前には、大通りや線路をまたぐ橋の形式になっているため緑化には課題があるが、今年度開始する駅前公共空間高質化事業では、駅前の緑化のあり方を含めた基本構想を策定していきたい。

問 本事業の基本構想の策定に合わせて、市の景観計画を見直し、緑の管理の方向性を示す必要があると考えるがどうか。

答 緑などの景観資源をいかした景観形成の視点の強化が必要と考えている。本事業でも、景観計画の見直しの方向性を見据え、景観資源をいかした取り組みを進めていく。



緑をいかした南大沢駅周辺環境の整備で、魅力あふれるまちづくりを

交通

地域公共交通の課題解決は

問 路線バスの減便や廃止の要因の一つである、バスの運転手不足の解消に向けた支援について、市の考えは。

答 運転手の負担軽減や、バスの運行効率化にも資するDX技術導入への支援等を検討している。



問 事業者の経営努力や運賃収入だけでは、持続可能な地域公共交通は実現できないと考える。そのため、路線バスをインフラとして位置付け、不採算でも支えることが必要ではないか。

答 路線バスは市民にとって重要な移動手段であり、生活を支える役割を担っていることを認識している。一方、インフラとして位置付けるには、安定的で継続的な財源確保が不可欠であり、すべての路線

を公的に支えるのは困難と考える。重要な公共サービスと捉えつつも、地域の実情に応じた持続可能な交通体系を構築していくことが肝要と考えている。

問 路線バスの減便の影響から、バスに乗り遅れないよう市民が早くバス停に着いても、座るところがなく、立つて待つことがあると聞く。バス待ち環境の改善のため、屋根やベンチ設置の補助金の創設等を進めるべきと考えるがどうか。

答 バス待ち環境の改善は、利用者の快適性の向上のみならず、防災や福祉等の政策においても必要な取り組みと認識しており、さまざまな検討を行ってきた。引き続き、設置促進に向けて関係機関との協議を進めていきたい。



施設等へのアクセス確保だけではなく地域の持続可能性を支える基盤となる路線バス